

# 県民の声等を取り入れた事業一覧

○県民の声

(平成29年12月1日～平成30年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正対応等は—表示
鳥取県中部地震被害からの継続的な復興支援をお願いしたい。	中部総合事務所	まちなか賑わい再生支援事業(商業・サービス活性化支援型)補助金については平成30年度に制度を創設しましたが、活用希望はありませんでした。 平成31年度は三朝温泉観光協会から「かじか橋足湯改修事業」について活用希望があり、減少傾向にある観光客の増加につなげることで賑わいの創出を図るため当初予算で検討しています。	継続	震災後へのふるさとづくり支援事業	2,000
	観光戦略課	本県での宿泊・周遊を伴う団体観光客を誘致するため、県外からのバスツアー造成に対して支援を行います。  【支援内容】 ・宿泊あり バス1台当たり30千円・泊数 ・宿泊なし バス1台当たり15千円	継続	「ぐるっと山陰」誘客促進事業(うち、バス旅行商品支援)	30,000
U・I・Jターンの促進による県外からの人材確保や地元企業を知るためのインターンシップ推進などの施策を講じていただきたい。	とっとり暮らし支援課	県では、県内就職・IJUターンを促す動画を制作し、若者やその保護者等に向けて、新たにテレビCM、県内大学等のデジタルサイネージ、インターネット広告等による情報発信に取り組んでいます。 平成31年度も引き続き情報発信に取り組めます。 また、平成31年度に向けて、県内外の学生が、県内の魅力的な社会人とつながることで、本県の魅力を知っていただく取組を実施するよう検討しています。	継続	移住定住促進情報発信事業	5,150
	雇用政策課	平成30年度に全県展開した県立ハローワークで、県立東京・関西ハローワーク等と連携してプロフェッショナル人材のIJUターン就職促進や、鳥取県で働きたい、暮らしたい方をトータルサポートする「IJUサポートセンター」、若者の就職活動の応援や就職後の悩み相談まで一貫した支援を実施する「若者・学生カフェ」、家庭と両立しながら能力を発揮したい女性の働きやすい企業の紹介等を行う「女性活躍サポートセンター」を設け、移住者や若者及び女性の就職に力を入れていくこととしています。 県内就職の良さを情報発信し、優秀な学生の県内企業への就職を促進するため、引き続き就職支援協定を締結する大学を増やし、県外大学等と連携しながら「とっとり就活応援団事業」や「とっとりインターンシップ」の推進に取り組むとともに、平成30年度新たに導入した長期有償型インターンシップを継続して実施し、県内進学者の県内就職を促進していくこととしています。	拡充	・鳥取県立(鳥取・倉吉・米子・境港)ハローワーク管理運営事業 ・学生等県内就職加速化事業 ・とっとりインターンシップ推進事業 ・IJUターン県内就職促進強化事業 ・とっとり就活推進事業 ・鳥取県未来人材育成奨学金支援事業 ・地域活性化雇用創造プロジェクト事業	265,765 15,531 38,343 15,803 13,559 255,016 111,343
若者の県外流出を減らすとともに、県外からの移住・定住の促進をお願いしたい。	とっとり暮らし支援課	県では、平成30年度に県内外の学生自身が情報収集・情報発信する取組の支援を行うとともに、都市部の若者が、とっとり暮らしを体験する「とっとり暮らしワーキングホリデー」や都市部の若者が、県内の地域課題の解決策を検討する取組を実施しています。 平成31年度も引き続き若者が本県の暮らしを体験するなどの取組を実施することで、将来的な移住者につなげる取組を進めていきます。	継続	とっとりとの関係人口をふやす事業	5,705

# 県民の声等を取り入れた事業一覧

○県民の声

(平成29年12月1日～平成30年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正対応等は—表示
ユニバーサルデザインをもっと普及させ、誰もが暮らしやすい地域にしていって欲しい。	人権・同和対策課	市町村等と連携し、地域、団体、企業等へのUD出前講座の募集を行うと同時に、UDの認知度の低い高齢者の集まりに積極的に出かけるなどし、UDの認知度向上を積極的に図ります。	継続	とっとりユニバーサルデザイン推進事業	2,362
特急「スーパーはくと」の全便倉吉駅発着、特急「スーパーいなば」の倉吉駅乗り入れ再開について、それぞれ関係先への働きかけをお願いしたい。	交通政策課	「スーパーいなば」、「スーパーはくと」の倉吉駅乗り入れについてJRに対して要請するとともに、地元自治体、商工団体、観光団体等で構成するJR線・智頭線中部地区利用促進協議会に新たに県も参画し、県を含めた行政と民間が一緒になって中部地域への利用促進を進めていきます。	拡充	鉄道対策費(うちJR線・智頭線中部地区利用促進協議会)	505
鳥取県では鉄道・路線バス等の公共交通の利用促進を行っておられるようですが、どの程度効果が出ているのでしょうか。 交通事業者や沿線自治体・住民などとともに、利用促進を進めていただきたいと思います。 他地域の取組も積極的に参考にされるべきでしょう。	交通政策課	引き続き、バス事業者及び市町村に対してバス運行費等を助成して生活バス路線を維持するとともに、市町村における地域の実情・ニーズに応じた持続可能な地域の交通体系の構築に向けた取り組みに対して支援を行います。	継続	地域バス交通等体系整備支援事業	498,802
鳥取看護大学開学後における円滑な運営と環境整備に向けた継続的な支援をお願いしたい。	教育・学術振興課	鳥取看護大学、鳥取短期大学と地域の発展を推進する会に引き続き加入します。	継続	高等教育機関等支援事業	10
	健康政策課	まちの保健室事業は、地域住民だけでなく、参加する学生にとって健康づくり事業の実践の場として有意義な取組であり、引き続き取り組んでいくこととしています。	継続	ココカラげんき鳥取県推進事業	1,749
	医療政策課	平成31年度当初予算において、看護師養成施設新設時の課題の一つである実習の充実に向け、看護実習指導者の育成、実習指導者のフォローアップ研修会の開催等の支援を継続して行う予定です。	継続	看護職員実習指導者養成講習会開催事業	6,027
スポーツツーリズムによる観光振興及びスポーツ合宿の誘致推進をお願いしたい。	スポーツ課	境港公共マリーナを拠点にセーリング(レーザー級)、倉吉体育文化会館を拠点にスポーツクライミング、コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパークを拠点に陸上競技の合宿実施を予定します。 併せて他の競技の事前キャンプ誘致活動も継続します。	拡充	東京オリパラ対策事業(うち、キャンプ誘致推進事業及びキャンプ実施受入支援事業)	21,796
	観光戦略課	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツ大会の地方開催が多くなると見込まれることから、スポーツコンベンションの誘致セールス体制を強化しています。 また、シニアスポーツなど生涯スポーツ大会についても誘致活動を展開します。	継続	コンベンション誘致促進事業	48,602

# 県民の声等を取り入れた事業一覧

○県民の声

(平成29年12月1日～平成30年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正対応等は—表示
古民家や町屋、博物館、美術館等を活用した文化観光の推進をお願いしたい。	観光戦略課	近年、消費者のニーズが高まっているエコツーリズムやグリーンツーリズムに対する受入体制を強化するため、地域資源を活用した観光メニューづくりに対して支援を行います。  【ニューツーリズム普及促進支援補助金】 補助率1/2 (補助対象経費)体験型観光メニューの造成に必要な機材や消耗品の購入経費、モニターツアーの実施、情報発信経費等	継続	とっとりスタイルエコツーリズム普及推進事業(うち、ニューツーリズム普及促進支援補助金)	5,500
クレジットカードが使えないと外国人観光客は不便を感じます。クレジットカードや電子マネーの初期経費や手数料の関係で各店舗が導入を渋っているようでしたら、県から費用を一部補助していただき、クレジットカードや電子マネーの導入を促進していただけないでしょうか。	観光戦略課	観光施設等における外国人観光客の利便性向上及び受入体制整備に対する支援を行います。  【外国人観光客倍増促進補助金】 補助率1/2、補助金額の上限100万円(補助対象経費) ホームページ、パンフレットの多言語化やWi-Fi環境の整備、クレジット対応機器の整備、非常用電源の設置等	継続	外国人観光客受入環境整備事業(うち、外国人観光客倍増補助金)	15,000
白壁土蔵群周辺やフィギュアミュージアムへの観光振興支援をお願いしたい。	観光戦略課	観光施設等における外国人観光客の利便性向上及び受入体制整備に対する支援を行います。  【外国人観光客倍増促進補助金】 補助率1/2、補助金額の上限100万円(補助対象経費) ホームページ、パンフレットの多言語化やWi-Fi環境の整備、クレジット対応機器の整備、非常用電源の設置等	継続	外国人観光客受入環境整備事業(うち、外国人観光客倍増補助金)	15,000
	まんが王国官房	「まんが王国とっとり満喫周遊パス」の対象施設に「円形劇場くらしフィギュアミュージアム」や「鳥取二十世紀梨記念館なっご館」を設定し、各施設及び周辺地域の海外向けプロモーション及び送客支援を行いました。 また、「まんが王国活動支援補助金」により円形劇場の知名度向上の取り組みを支援しました。	継続	まんが・アニメツーリズム推進事業(まんが王国とっとり満喫周遊パスの発行)	2,500
ひなびたやポケモンなどを活用したイベントの開催をお願いしたい。	まんが王国官房	「まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金」により、倉吉市が行う「ひなびた」を活用した観光客等誘致事業」を継続支援しました。	継続	まんが・アニメツーリズム推進事業(まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金)	2,000
耳の不自由な方の遠隔地間対話を支援する活動があります。こういうサービス、プロジェクトを広める、支援する活動をするのも手話言語条例の一環として良いのではないかと思います。	障がい福祉課	電話リレーサービス(代理電話サービス)を実施するため必要な経費について、平成30年度に引き続き新年度予算に盛り込んでいます。	継続	手話でコミュニケーション事業	95,345
保育士さんが保育士不足で自分の子どもを作りにくい環境にあると知りました。鳥取県は子どもを安心して育てられるという事をもっとアピールしてみてもどうでしょうか。	子育て応援課	保育士確保については、「鳥取県保育士・保育所支援センター」による掘り起こしに加えて、学生に対するUターン就職の働きかけなどに加えて、平成30年度から働きやすい職場環境や鳥取ならではの自然を活かした保育について情報発信を行い、保育士として働きながら安心して子育てできることをPRしています。 また、県外に進学した学生向けに新たな修学資金貸付制度を創設予定であり、学生のUターンを促進し、保育士の確保に一層取り組みます。	拡充	保育士確保対策強化事業 [H30補正]127,670千円	13,440

# 県民の声等を取り入れた事業一覧

○県民の声

(平成29年12月1日～平成30年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正対応等は―表示
企業に対する様々な支援策を通じて経済対策の一層の充実又は継続を図っていただくなど、地域経済の下支えをお願いしたい。	商工政策課	平成30年6月に鳥取県中部地震復興のため、施設整備を支援し、中部地域の復興を後押ししてきたほか、燃油価格の高騰を受け、対策資金の発動や融資制度の創設を行うなど臨機応変に県内企業の支援を実施してきました。  また、頻発した自然災害を踏まえ、緊急対策資金を発動したほか、中小企業等のBCP(事業継続計画)策定と防災対応力強化のため、補助制度や融資制度を創設しました。  平成31年度に向けては、喫緊の課題である人手不足や働き方改革、生産性向上等の取組を引き続き支援し、地域経済の持続的な成長につなげていくこととしています。	新規	企業自立サポート事業(制度金融)・信用保証料負担軽減補助金等 [H30補正]38,576千円	―
地場産業製品の県外進出に力を入れていただきたい。 また、新たな産業を創出するための起業化支援室(インキュベーションルーム)の設置についても検討をお願いしたい。	産業振興課	起業化支援室(インキュベーション)については、鳥取県産業技術センターの各研究所(鳥取、米子、境港)、及び鳥取県産業振興機構(鳥取市)内に設置しており、入居希望者を募集しているところです。 今後とも、起業前後の必要経費負担軽減のほか、研究開発、販路開拓や資金調達など、県内ニーズを踏まえた支援を展開することで、起業及び新事業の創出を推進していきます。	継続	(地独)鳥取県産業技術センター運営事業 うち運営費交付金  公益財団法人鳥取県産業振興機構運営事業 うち公益財団法人鳥取県産業振興機構運営費交付金事業	789,730  317,233
教職員の働き方改革について、時間外、サービス残業等多い職場ですが少しでも時間外労働をしないよう教育委員会、各小中学校での対策等されてはいいのでしょうか。	教育人材開発課	1 教職員の意識改革を進めるため、働き方改革に関する管理職員への研修等を実施するとともに、学校への民間コンサルタントの派遣等を継続し、学校カイゼン活動を推進していきます。  2 部活動指導員や教員業務アシスタントの配置拡充を行い、教員の負担軽減を進めます。 部活動指導員 高校15校19名(11校12名) 中学校39校70名(11校27名) 教員業務アシスタント 小中学校19名(10名)、県立学校4名(3名) ※かつこ書きは30年度の配置人数  3 平成30年4月から全市町村立学校へ導入した学校業務支援システムを有効活用し、業務効率化を進めます。	継続  拡充  拡充  継続	学校業務カイゼン活動推進事業  部活動指導員配置事業  学校現場における働き方改革推進事業  市町村立学校の学校業務支援システム導入事業	1,752  26,612  17,169  33,237
中部総合事務所は、足元が寒すぎます。 来庁者にとって寒いですが職員さんも大変だと思います。 設定温度の管理ではなく実際の室温管理はされていますか。 ウォームビズもわかりますが、みんなの健康を考えて適切な温度設定をお願いします。	中部総合事務所	中部総合事務所1号館B棟1階入札室、2階会議室及び3階会議室の一部を全館冷暖房(中央熱源)方式から個別エアコン方式に変更する改修を実施します。	新規	中部総合事務所1号館B棟冷暖房設備改修事業	1,159

## 県民の声等を取り入れた事業一覧

○県民の声

(平成30年4月1日～平成30年11月30日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見の概要	担当所属	反映・対応状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正対応等は一表示
防災士養成研修を中部だけではなく、西部、東部でも開催し、郡部での防災士および女性の防災士をもっと増やすべきではないのでしょうか。	消防防災課	防災士養成研修の開催回数や開催場所の増については、平成31年度は、県内2箇所開催(中部、西部)、募集定員を200名に増やすことを計画しています。	拡充	地域防災リーダー養成事業	3,754
スポーツ振興について、県の代表選手のレベルアップを目指す事業展開をされた方がよいと思います。 県の代表として頑張れる子どもたちの土壌づくりを目指してほしいです。	スポーツ課	ジュニア選手の競技力の向上を図るため、選手の強化やジュニアクラブの支援を引き続き取り組んでいきます。 併せて、運動能力と意欲のある子どもたちを発掘し、育成していく取組についても、対象競技を増やすなどして充実を図ります。	拡充	・運動部活動活性化事業 ・特別ジュニア選手指定強化 ・ジュニアクラブチーム等の育成・支援 ・鳥取ジュニアアスリート発掘事業 ・鳥取ジュニアアスリート強化事業	28,074 36,996 4,400 4,797 8,944
外国人サイクリストの東部地区へのアクセス利便性を向上させるため、輸送のPRを強化したり、自転車を解体せずにJRに乗れるようにしてはどうでしょうか。	観光戦略課	本県がサイクリストの聖地となるよう、近隣県と連携し広域サイクリングルートの設定や受入環境の整備を推進するとともにサイクルトレインを活用した取組を行う団体に対して支援を行います。 補助率 1/2	拡充	サイクリストの聖地鳥取県整備事業(サイクルツーリズム推進事業)(うち、サイクルトレイン・バスの試行)	500
ヘルプマークの知名度が低すぎる。もっとPRすべきである。	障がい福祉課	県が直接行う各種広報に加え、市町村による住民向けの周知、企業への出前説明等あらゆる機会を捉え、ヘルプマークの周知・普及を更に強化していくため、必要な経費を平成30年度からの継続事業として新年度予算にも盛り込んでいます。	継続	あいサポート推進事業	13,331
蟹取県として、蟹の消費のみをPRするのではなく、殻の活用(ごみの減量化)を検討してはどうでしょうか。	循環型社会推進課	蟹の殻の活用については、ご意見をいただいたとおり、殻から抽出したグルコサミンやキトサンなどの成分を利用した食品や化粧品等の商品開発が取り組まれているほか、蟹の殻自体を原料として肥料化している事例もあります。 今後も引き続き県内の企業や大学等と連携して更なるリサイクルの推進に努めていきます。	継続	Let's 4R実践活動推進補助金	200
鳥取地どりピヨはなくてはならない食材です。 鳥取地どりピヨがなくならないよう働きかけてください。	畜産課	生産から販売までを担う新体制の立上げに協力するとともに、生産施設の整備や肉処理担当者の人材育成に対する支援を考えています。	新規 継続	鳥取地どりピヨ食鳥処理支援事業 鳥取地どりブランド生産拡大支援事業	1,532 120
支流と呼ばれる河川は、川幅が広くなく、川の中にも護岸にも雑木・雑草が茂っていて、増水した場合、水が難く流れるのか疑問です。 今回の大雨で大量の土砂や流出物が溜まっていたとしたら、大きな被害を発生させる要因ともなりかねないと思います。	河川課	この度の平成30年7月豪雨では、県内河川でも大量の土砂が流入・堆積している状況が確認されたことから、緊急に対応が必要な箇所について別途予算を確保し、河川内の土砂を撤去する予定としています。	拡充	・河川維持管理費(河床掘削) [H30補正]530,000千円 ・樹木伐採・河道掘削等緊急対策事業 [H30補正]1,300,000千円	— —